革新する技術、創造する未来～夢へ翔る熊本高専～

熊本高専だより

KUMAMOTO KOSEN

No.27

2019.8
夏号
SUMMER

今号のテーマ
新入生を迎えて

Contents

01　巻頭のことば
03　新入生を迎えて
05　新入生から
10　学生たちから
12　特集
13　人事異動
15　新年度を迎えて
17　諸だより
18　News&Topics

新入生を迎えて

校長 荒木 啓二郎

本年度の入学式を去る4月5日に熊本県立劇場において挙行し、本科入学生257名、編入学生3名、留学生6名、専攻科入学生7名の合計273名を迎えました。このなかで、93名とこれまでになく多くの女子学生が入学いたしました。今後も女子学生が増えてくることが予想されますので、施設面等でも対応を考えていく必要があります。この面におきましても、関係各位のご理解とご協力ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

4月5日の入学式では、平成最後の入学生だとご挨拶の中で申し上げましたが、年号が改まった今は、令和最初の新入生だとも申し上げねばなりません。しかも、旧熊本電波工業高等専門学校と旧八代工業高等専門学校とが再編統合されて、熊本高等専門学校となって10年になりますので、本年は熊本高専の第10期目という節目が重なった年の入学生となります。今後も、事あるごとに、このことで引き合いに出されるのではないかと思います。それはそれで、本年入学の同期の存在感があるということで、将来に亘っても学年の結束にも繋がれば幸いです。

高専の出身者が高い技術力と実践力を有して、我が国の発展に貢献してきたことは広く認識されているところでありますが、近年では技術のみならず、国際性や人間力なども身に付けて、これからの予測困難な時代において世界中のいたるところで様々な分野で活躍できることが求められております。

年号が改まることにあわせた訳ではありませんが、熊本高専を含む国立高等専門学校全51校を統括する独立行政法人国立高等専門学校機構における第4期の中期目標・中期計画の5年間の初年度という新たな活動開始の時期でもあります。熊本高専では、本年度から、教員組織、事務組織ともに大きく改革し、新たなカリキュラムの実施も開始しました。

「本校は、専門分野の知識と技術を有し、技術者としての人間力を備えた、国際的にも通用する実践的・創造的な技術者の育成および科学技術による地域社会への貢献を使命とする。」という理念に立ち返り、第4期の5年間では、本校の特徴と強みを更にのばす活動を進めていくことを基本方針といたします。高専型リベラルアーツを基にした分野横断型の教育により、本校の学生が、専門の知識や技量はもちろんのこと、広い知識と関心、異文化理解、社会的活動、知的な集団活動、国際交流などを通じて、また、豊かな自然と歴史・文化を有する熊本の地において自分の生まれ育った地域や環境に根ざしたアイデンティティを持って、逞しさとしなやかさを身に付けて、広く活躍できる人材として育つことを願っております。学生の皆さんは、先生方の熱心で丁寧なご指導のもとで有意義で楽しく充実した高専生活を送って下さい。

理工系こそ 人間力

熊本キャンパス奨学後援会
会長 小松野 雅義

令和元年度、熊本高専に入学されました、学生の皆さん、並びに保護者の皆様、心からお慶びを申し上げます。又、奨学後援会に対し、総会にて趣旨をご理解のうえ、入会を頂きました事に深く感謝申し上げます。

さて、入学から4カ月が経ち、学校や寮生活にも慣れ、高専生活を楽しまれていると思います。熊本高専も10周年を迎え熊本、八代、両キャンパスの特色を生かし、数多くの優秀な人材を、世に送り出して来ました。

日々、激しく変化を続ける社会情勢の中、私の会社でも、全国の高専卒業生が大変活躍をしております。社会が求める技術者、科学者の能力とは、専門知識や技術だけで無く、人としての魅力を備えた「人間力」のある人材です。高専は、基礎学力から工学部レベルの技術と専門知識を一貫して身に付ける学びの場です。

友と協力してものを作り上げるチーム力、そして新しい事にチャレンジする前向きな態度を是非、身に付けて下さい〝SNS〟等の顔が見えない文字通話だけでなく「人間力」は笑顔を心掛ける会話の中から創られます。

コミュニケーション能力を身に付け自分の将来の為に「先生との会話」から先に生まれた経験豊富な知識を学び、文字の如く、木の上に立ってでも見ていたいと常に思う「親御さんとの会話」全てが将来の皆さんの成長に繋がるでしょう。応援しています。

今後共、皆様のご協力をお願い申し上げます。

想いを現実に

八代キャンパス後援会
会長 右谷 寿浩

新入生ならびに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

入学当初は、中学時代とは学習内容はもちろんキャンパス内の雰囲気も違い、いろいろ戸惑われたと思いますが、数ヶ月が過ぎ仲間や先生方と一緒に充実した学校生活を送られていることでしょう。

さて、世の中は日々新しい「もの」がつくられています。皆さんは、誰も今まで考えつかなかった「もの」を目で見て、耳で聴き、手で触れ、大いに興味を持たれたと思います。また、そのような「もの」を自分でつくってみたいという想いを持たれ、ここに進学された方も少なくないでしょう。

今回入学されたこの熊本高専は、他の高校と比べ自由なところもあります。しかし、授業内容は専門的となり大変になると思いますが、「何事も基本」が大事です。想いを実現させるために必要な知識、技術を先生や先輩、クラスメイトと共に着実に学んでいきましょう。

学校生活も学業ばかりでなく、部活や各種イベントも行われております。積極的に参加し、素晴らしい学校生活を送ってください。

後援会は、学生がよりよい学生生活を過ごせるよう先生や保護者の方々と協力してまいりますので、今後とも宜しくお願いいたします。

主体的な学びに向けて

教務主事（八代キャンパス）
小林　幸人

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新入生のみなさんが、これからの学生生活を通して大きく成長していかれることを心から願っています。

さて、学生のみなさんが卒業し活躍する時代の社会は、これまでとは大きく異なるものとなると予想されています。「予測不可能な時代」に貢献できる人材、それがエンジニアです。エンジニアは、誰も気づいていない問題を捉え、誰も発見していない解を創造し、実現することができる専門職です。大きく変化する時代に、新たな社会を創り出すエンジニアとして活躍することを、学生のみなさんは期待されています。

そこで、学生のみなさんには、本校での学習を「主体的な学び」にしていただきたいと願っています。学びはそれぞれ異なるものです。ひとりひとり特性と強み、何を学びたいか、何を学ぶ必要があるか、異なるでしょう。学ぶ人の数だけ学び方はあるはずです。「教えられることを受け止める」だけでなく、それぞれが必要とする学びを、それぞれの興味関心に基づいて追究していく、それが本校の目指す「学び」です。学生のみなさんひとりひとりの学びが実り豊かなものとなるよう、私たちも精一杯支援したいと思っています。

授業はもちろん、研究やプロジェクト活動、海外研修、部活動、ボランティアなど、多くの経験がそれぞれ異なる学びを創っていきます。主体的な学びによって、みなさんの学生生活が豊かなものとなるよう祈念いたします。

無限の可能性

学生主事（熊本キャンパス）
光永　武志

新入生の皆さん、ようこそ熊本高専へ。数ある選択肢の中から、本校を選択された皆さんの決断に心から敬意を表します。5年間の時を経て卒業する際に、「熊本高専を選んで本当に良かった」と、皆さんに思って貰えることを教職員一同願っています。

皆さんが本校を選んだ理由は様々でしょう。熊本高専は、専門分野についての確固とした知識や技術力を身につけることはもちろん、国際的な視野を持って卒業する学生諸君も大変多い学校です。

低学年の時から各種のプログラムに参加することで、国際交流・異文化理解という大切な土台を作ります。高学年では、その上に、グローバルな場で様々なバックグラウンドを持つ人々と協力して、さらにはリーダーシップを発揮して問題解決に取り組む能力を築き上げることができます。

また、自主的に取り組む、学生会や寮生会、クラブ活動等を通じて、教室で学ぶだけでは身につけることが難しい協調性、社会性や指導力などを身につけることができます。

チャレンジしたいことに敢然と向かってください。学校はできる限りの支援を行います。自分の目標を定め、思いっきり挑戦してください。

長いようで案外短くもある5年という時間を、力一杯駆けて欲しいと思います。その先には、現在では想像もつかない「未来の自分」がいることでしょう。熊本高専生の可能性は無限大です。

新入寮生を迎えて

寮務主事（八代キャンパス）
上土井　幸喜

新たに寮に入られた皆さん、入寮おめでとうございます。

高専に入学して、自宅から通学する人、寮に入る人、同じ学校生活でも大きく異なります。寮に入るか入らないか、高専を希望する際、寮についてもある程度考慮に入れて入学してきていると思いますが、生活して分かるように高専の寮はアパートとは異なります。寮は、団体生活を通して「自律・協調性・対人関係性・調整能力の向上・交友関係の形成を図り向上させる場」として動いています。先輩、後輩および同級生との密な人間関係、朝、夕の点呼、共通場所の掃除、風呂の掃除、洗濯、いろいろな雑用、様々なルール、自宅では特にする必要がなかったこと、保護者の方にやってもらっていたことも多々あると思います。通学生では経験することがないであろうことをたくさん経験します。寮生の皆さんは、それらの経験を通して保護者に対する感謝の気持ちも持ってもらえたらと思います。寮務関係者としては時に厳しく接することもありますが、それも必要なことと理解してもらえたらありがたいです。

学校生活の大半を過ごしている寮、たくさんの経験を積み「寮に入って良かった、いろいろ成長させてもらった」と心から思えるよう、教職員全員でサポートしていきます。

昭和、平成、そして令和へ

研究主事（熊本キャンパス）
小山　善文

今年の新入生、編入生、留学生を迎えた令和元年がスタートしました。日本国民の象徴である天皇の代替りを祝う超大型ＧＷも過ぎ、皆さん落ち着いた日々を取り戻していることと思います。新元号〝令和〟は、日本最古の歌集、万葉集から引用されたとのこと、また、大阪百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に推薦されるとの知らせもあり、古代史好きにはわくわくする期待感で、古神社や古墳巡りを計画している方も多いかと思います（そういう筆者もですが）。30年続いた平成の御世は日本では戦争は起きませんでしたが、各地で甚大な災害に見舞われた時代でもありました。令和はどんな時代になるのでしょうか？

昭和半ば生れにとっても楽しみですが、主役は間違いなく平成生まれの若者、学生です。学生の成長を手助けすることを生業（なりわい）とする身として、嬉しくある一方、責任を感じます。

高専は大学と同じ高等教育機関であり、教育と研究が求められます。研究には様々な形態がありますが、主として応用研究、連携研究、教育研究に力を入れています。どの研究にも学生が参加し活躍することが望ましく、社会からの期待も大きいものがあります。本校には低学年からの自主的な研究活動を支援する学生教育研究支援制度があり、志ある学生が毎年チャレンジしています。

多くの学生にテストの点数に縛られることなく、研究プロジェクトなどに参画することを楽しむ人材になってもらいたいと思っています。我々も学生と真剣に向き合っていきます。

熊本高専に入学して

建築社会デザイン工学科
1年　古川 晴喜

私が熊本高専に入学して、最初は不安や戸惑いがありました。クラスの雰囲気もよそよそしかったのですが、今ではみんな賑やかに過ごしています。

高専生になったということは自分の決定できることや行動範囲も広がり、自由を感じることもできると思います。しかし、それだけ自分の責任も重くなるように感じています。

学習面では、高専では90分授業ということもあって、一日に習う量が多くて予習や復習が間に合わないと、ついて行くのがやっとという科目もでてくると思います。

そうならないためには、日々の予習復習、特にその日に習った科目だけでもその日のうちに復習をするくせをつけて、学習していきたいです。

最後に部活動等頑張りたいこと、やってみたいことがあったら積極的に挑戦していきたいと思います。

この熊本高専での5年間が充実した生活となるよう、頑張っていきたいと思います。

熊本高専に入学して

制御情報システム工学科
1年　荒木 彩葉

熊本高専に入学して2ヶ月が経とうとしている今、私が考えることは、自分自身の道を創っていく必要があるということです。高専は自由な校風が特徴であり、1日の授業数が4科目と少なく、自由に使える時間がたくさんあることが魅力の一つだと思います。

しかし、自由だから困惑してしまうようなこともいくつかありました。中学校ではできなかったことができるようになったりしても、本当にやっていいのか分からなかったりしました。そこで私が考えたのは、どうすれば自分にとって効率よく成績をあげることができるかです。コツコツやる人も一夜漬けの人もいますが、私は短期間で集中して勉強し、遊ぶときと真面目にやるときのメリハリを意識して生活することにしました。切り替えを素早くできるようになれば、無駄な時間を有効的に使えると思います。人それぞれに合った時間の使い方があるので、他人に流されるのではなく、自分で考えて生活したいです。

合宿研修に参加して

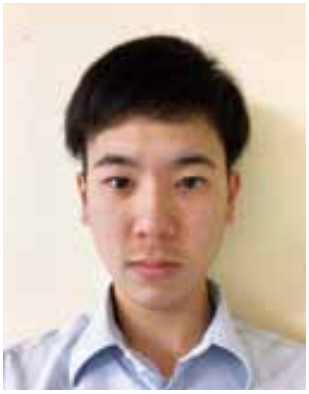
生物化学システム工学科
1年　奥野　晃生

4月18日と19日の2日間、あしきた青年の家に合宿研修へ行きました。二日間の研修で目玉だったのはカッター船とクイズウォークラリーだったと思うのですが、それ以外の食事や移動時間さえとても価値のある時間だったと思います。

カッター船を協力して漕ぎました。力を合わせないとうまく進まなかったので、声を合わせて漕ぎました。心の距離も自ずと近づいたような気がします。食後と入浴後に、熊本キャンパスと合同でレクレーションを行いました。仲間作りのゲームで声を枯らしました。翌日はクイズウォークラリーに参加しました。成績も3問ミスと悪くなかったので嬉しかったです。退所式の前に荷物を置いていた中研修室で話していた時間が一番楽しかったかもしれません。先輩が「合宿研修でクラスの距離が縮まる」と言っていましたが、本当にその通りでした。これからの高専生活が楽しみで仕方ありません。

芦北研修を終えて

人間情報システム工学科
1年　山口　輝剛



私は今回の芦北研修のおかげで気の合う仲間を見つけ、友情を深めることができました。新しい仲間と知り合うキッカケを与えてくれたこの研修は、私にとってとても有意義なものになりました。また、研修内容に関しても、自然の中で過ごす二日間はとても気持ちが良く、みんなで協力して一緒に楽しめるイベントが多かったと思います。

その中でも、私はウォークラリーが最も印象的でした。山に入ったことがなかったので、緑の自然の中を歩くこと自体がとても気持ちが良く、新鮮な体験になりました。また、ウォークラリーの最中は友達と会話を楽しむことができたので、相手のことをよく知り、仲を深めることができ、全体を通してとても充実したものとなりました。

その他のイベントも、それぞれが普段は体験できないような内容のものだったので、それだけに大切な思い出になりました。今回の研修で新しくできた友達や思い出を大切にし、これからに生かそうと思います。

ミニ体育祭に参加して

機械知能システム工学科
1年　福島 悠誠

ミニ体育祭で心に残ったことがいくつかあります。

第一に、先輩方の格好です。クラスTシャツでの参加は想像していたのですが、自分の想像をはるかに超える格好をした先輩方が多く驚きました。

第二に、先輩方の優しさです。私は借り物競走に出たのですが、借りるものが人で、先輩方にしか当てはまらなく、自分から来てと伝えられずに困っていました。そんな時に、先輩方が自ら来てくださり嬉しかったです。

第三に、クラスのみんなのことです。このクラスになって1ヶ月以上経つのにお互いのことを全く知りませんでした。しかし、このミニ体育祭を通して、この人ってこんなにおしゃべりする人だったんだ、運動めっちゃできるんだ、などたくさん知ることができました。

自分が上級生になった時、優しく、面白く、カッコイイ先輩になりたいと思いました。また、クラスのみんなのことをさらに知って、次のミニ体育祭では入賞できるように頑張りたいと思います。

春季クラスマッチに参加して

情報通信
エレクトロニクス工学科
1年　齋藤 叶

正直に言うと、表立って活躍するより裏方としてイベントを支えることの方が好きな私は、今回の春季クラスマッチでeスポーツの運営を手伝った。春季クラスマッチ初参加の私は当然勝手が分からず、試合の進行などで手間取ってしまったり、先輩方の足を引っ張ってしまうことも多々あったが、先輩方の進行などを見て学べることも多かったし、貴重な経験になったと思っている。何より、実行委員の先輩方から「手伝ってくれてありがとう」という言葉を頂いたことで、私の行動は無駄じゃなかったと思えて嬉しかった。

競技の方ではバレーボールにエントリーしていたが、運動が苦手な私はあまりチームに貢献出来ていなかったと思う。だから冬季クラスマッチでは、微力ではあるがもっとチームに貢献し、今回よりいい結果を残せるようにしたいと思う。

専攻科に入学して

生産システム工学専攻
1年　寺澤　宙成

本科では生物化学システム工学科に在籍し、生化学や微生物、化学合成などに関する知識を授業や実験を通して学び、充実した5年間を送りました。私は、技術者には問題解決能力が必要であると考えています。そのためには、専門の知識だけでなく、複眼的な視野が必要な場合があり、専門の分野だけでなく、専門外の機械や建築の他分野や複合分野を学ぶことができる点に魅力を感じ、専攻科を志望しました。

実際に専攻科に入って感じたことは、自由な時間が増えたということです。授業が午前中で終わる日も多く、本科生と比べると好きに使える時間が圧倒的に多くなりました。そのため、1週間のほとんどで、一日の半分の時間を研究に費やすことができるようになりました。そのせいか、一日一日過ぎる時間が早く感じており、2年間はとても短く、あっという間に過ぎる時間だということを実感しています。

最後に、本科で5年間を共に過ごしてきた同級生は、就職や大学などといった新しい環境で、日々奮闘しながらも成長していることと思います。そんな彼らに負けないくらい、2年間という限られた時間を有意義に過ごすために、主体性を持った行動を行っていきたいと思います。

専攻科に入学して

電子情報システム工学専攻
1年　森田　力

この熊本高専には本科からカウントして6年目となりました。そして今年からは専攻科として新たなスタートを切りました。専攻科は本科よりもさらに自主性を重んじるカリキュラムとなっており、自分のやりたいことをできる環境が整っています。私はとりあえずこの1年で自身の興味のある分野について深く学びたいと考えております。そのためには、日常生活で空いた時間を有効活用できるかが重要になってくるでしょう。また、視野を広めるために今まで学んでこなかった分野にも触れてみたいとも考えております。専攻科では様々な科目を自由に選択できるためそのようなことも可能な環境となっています。

さらに、学外活動にも力を入れたいと考えております。本科ではあまり学外活動はやっていませんでしたが、専攻科ではハッカソンや勉強会、インターンシップなどを多くこなしスキルアップやコミュニケーション能力の向上に努めたいと思っています。そして最終的に専攻科を修了する際には専門技術は勿論のことコミュニケーション能力や豊かな発想力を持てるような人物になりたいと考えております。

なので、どのように自分が成長したいのか、そのためにはなにをすべきなのかをしっかりと目的意識をもってこの2年間を実りあるものにしていきたいと思います。

熊本高専に入学して

建築社会デザイン工学科3年
デミッドルジ　アノジン

皆さん、こんにちは。私は4月にモンゴルから来ました。最初は日本語で勉強するのは難しく、また生活でも困ることがありましたが、親切な先生やチューター、留学生の先輩たちが助けてくれて大変お世話になっております。

日本とモンゴルでは生活スタイル、社会、環境、気候などが全然違うので来る前はとても心配でした。今は日本生活に慣れましたが、慣れないのは暑さです。モンゴルは涼しく、また夏は学校が休みになりますが、ここでは暑すぎて授業で集中しにくいです。

私の目的は専門を学び自国の発展に貢献することですが、日本に来て、学ぶことが勉強以外にも多くあることが分かりました。特に日本人の意識と文化です。日本が発展している秘密は日本人の意識だと思います。私はそんな人々の中で、3年間勉強できることを本当に嬉しく思います。

熊本高専に入学して

情報通信エレクトロニクス工学科 3年
ハサン

こんにちは、バングラデシュからの留学生ハサンです。昨年の4月に日本に来て、東京で日本語を1年間勉強して、今年の4月に熊本高専の3年に入学しました。熊本に来て2ケ月が経ちますが、いつも先生やクラスメートが手伝ってくれるので、生活にも慣れ、授業も分かるようになりました。今熊本の生活が楽しく、熊本の事が何でも好きになっています。私は、勉強の他に、日本人の学生とたくさん交流したいと思っています。それで、ロボコン部とESSクラブに入りました。

バングラデシュは発展途上国で、これから専門技術の学校が必要です。私は、情報通信の技術と高専の教育を学ぶために留学しました。専門技術と日本の文化や習慣を学び、将来は、バングラデシュで日本の高専のような専門技術の学校を作る仕事をしたいと思っています。よろしくお願いします。

熊本高専に編入学して

制御情報システム工学科 4年
池田　世名

工業高校在籍中に興味をもったプログラミングと、工学の専門知識をより深く学びたいと考え、高専に編入してきました。

入学して約二か月が経過し、新しい環境や生活に対応できつつあると思いますが、中学時代の同級生やクラスメイトのお陰で、一人では解決できない生活や学習面での課題を乗り越えようと努力しています。

高校では教員の指示の下、受動的な生活を送ることが多かったのですが、高専では自律が重視され、確固たる意思をもって生活と学習することが求められていると感じています。また、パソコンを頻繁に使ったレポート作成や小テストが多く大変ですが、より実践的な技能の習得が社会で働く準備として必要だと思っています。

在籍期間中、学びをもっと楽しくするために努力し、社会に出るまでに更に成長していきたいと思います。

学生会より
ーバラ色スクールライフー

熊本キャンパス学生会会長
松川 一希

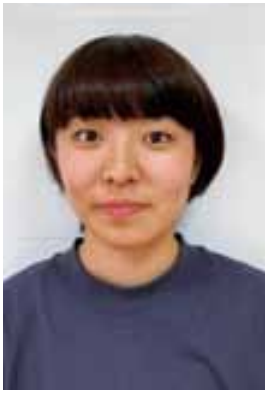
4月の対面式、5月のクラスマッチや梅ちぎり、さてみなさん今までの学生会イベントはいかがでしたか。

クラスマッチでは、借り物やパン食いなどを取り入れた障害物リレー、また運動が苦手な人に向けたeスポーツも行いました。実はこれらは比較的短期間で企画立案されたものです。もちろん簡単にはいかず、役員内での激しい衝突があり、概要を発表するのが遅くなったりしましたが、盛り上がったクラスマッチになったと思います。しかし、いろいろな課題も見えてきました。その課題を今後につなげていきます。

前回の高専だよりに書いた通り、今年度の学生会の目標は「挑戦」です。みなさんのスクールライフをより色鮮やかなものにするために、今後、今までなかったいろいろなイベントや交流を企画し、学年関係なく廊下ですれ違ったら「よっ！」と挨拶しあえるような学年、クラスの壁を越えた活発な学校を目指して活動していきたいと思います。残り僅かの任期、乞うご期待ください！

学生会より

八代キャンパス学生会会長
中村 絢夏



新学期が始まり、何ヶ月か経ちましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。1年生は、学校生活には慣れましたか？今年度、学生会会長を務めさせていただきます、建築社会デザイン工学科4年の中村絢夏と申します。

さて、今年度は学生会での新しい取り組みを、行っていこうと考えています。

まず、5月開催の「ミニ体育祭」。いかがでしたでしょうか。学生の皆さんが楽しんでいただけていたら嬉しいです。

そして、11月開催の高専祭。今年度のテーマは「Spice Up！」です。これは、より面白くする、刺激を与えるという意味があります。とてもいいテーマですよね。新しい企画などを用意するので、このテーマをもとに全学生で楽しい高専祭を作り上げましょう。

最後に、学生の皆さんが有意義な学校生活を送れるよう、頑張ってまいります。1年間、よろしくお願い致します。

「明和寮より 変化の年」

熊本キャンパス 明和寮
男子寮長　落合　慧

新寮生のみなさん、明和寮へようこそ！新年度になりはや二ヶ月、新入寮生も寮での生活に慣れてきた頃だと思います。

今年度は点呼時間や指導方針の変更など、様々な寮生活の改革が行われました。変更点が多く心配なこともありましたが、なんとか寮生のみんなも慣れてきているように感じます。

男子寮では、先輩後輩関係なく仲の良い寮を目指してきました。5階は5年生のみが生活するフロアとなっているのですが、その5階に下級生が遊びにきている姿を見ると、少しずつでも目標に近づいているのかなと実感します。また、寮イベントでも上級生から下級生に積極的に声をかけてもらうなど、コミュニケーションの輪をさらに広げていきたいと考えています。

しかし、目標はまだ志半ばです。私の任期も残りわずかですが、新イベントなど驚くようなことを計画しています。今年は変化の年、面白いことをやるので、寮生のみなさんは楽しみに待っていてください！

寮生会より

八代キャンパス 夕葉寮
寮長　林田　奈々

新入生の皆さん、入学・入寮おめでとうございます！とにかく元気でキラキラしている1年生の姿はとてもまぶしいです。5年生は口を揃えて、「年取ったなぁ」「若いなぁ」と言っています。

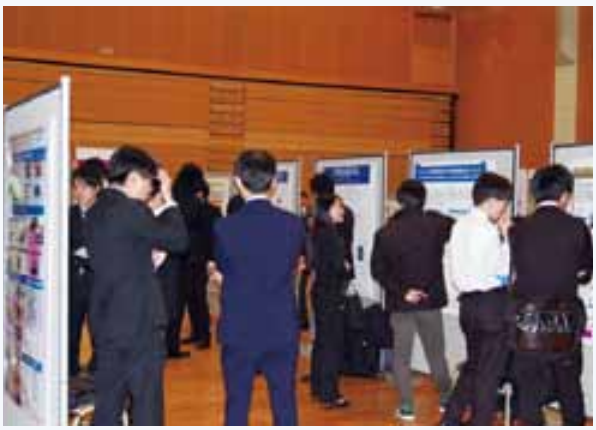
さて、今年度は新入寮生62名を迎え、本科生・専攻科生を含め男女305人でのスタートとなりました。4月には歓迎夕食会、歓迎球技大会、火災避難訓練など多くの行事を行いました。球技大会では、学年を混ぜてチームを作ったことで、縦と横の繋がりを広げるきっかけになったと思っています。入寮して約2か月が経った今、1年生も徐々に心に余裕が出来るころです。ここからの寮生活では周りに気を配り、広い視野で物事を見てほしいと思っています。楽しいこともある一方で思い通りにいかないことも沢山でてきますが、集団生活で学んだことは社会に出て必ず役に立ちます。多くのことを学び、充実した寮生活を送ってください。

メガミーティング2019

地域協働プロジェクトセンター長
小田川 裕之

全国高専それぞれの特色を伸長させる「高専4.0イニシアティブ事業」が公募され、昨年度、本校から2件のプログラムが採択されました。一件は、高専のリベラルアーツ教育を「思考力・分析力・発想力に繋げるための基盤教育」と捉え、分野を横断した総合力を育成する教育プログラムです。もう一件は、地域企業、自治体、学生、卒業生、教職員が共創して新たな社会「Society 5.0」の実現に向けた「オープン・イノベーション基盤」を構築し、公共性の高いプロジェクトを実施すること、また、それにより本校に人と技術が集まる「地域コミュニティ」を形成することを目指すものです。

その一環として、2月21日に、「メガミーティング2019」が、ホテル熊本テルサで開催されました。28の企業・自治体のブースと本校教職員・学生による約100枚のポスター展示によって最新の研究成果やアクティビティが紹介されました。参加者数は300人で、そこで形成された人的ネットワークを活用し、対話から生まれた新しい提案を来年度のオープンプロジェクトに展開していくことになっており、「高専が熊本にあってよかった」と実感される地域連携が進むことと期待されています。



熊本高専地域連携振興会

研究主事（熊本高専地域連携振興会執行役員）
小山 善文

設立総会記念式典での加藤会長の挨拶
（平成30年12月14日）

昨年（平成30年）12月に、熊本高専と地域社会との連携を推進する熊本高専地域連携振興会が創設されました。旧熊本電波高専時代に設立され、熊本キャンパスで運用・活動して来た地域振興会を発展的に解消し、新たに八代キャンパスと熊本キャンパスが融合する形の振興会として設立したものです。この会の目的は、熊本高専が有する人的、知的及び物質的資源をもって、熊本高専と地域社会との連携及び交流を深め地域イノベーションを促進し、地域社会の発展に寄与することです。会長には（株）テレビ熊本副社長加藤友信氏に就任いただき、本校校長荒木啓二郎が副会長を務めます。また、合志市荒木義行市長と八代市中村博生市長には相談役になっていただきました。令和元年5月1日現在の会員は県内外企業86社、特別会員は合志市、八代市、熊本経済同友会、熊本県工業連合会など13法人、個人会員31人からなります。熊本キャンパス奨学後援会と八代キャンパス後援会には特別会員になっていただいています。教員・学生が地域に貢献する活動を支援することに加えて、高専と会員の共同研究を推進するスタートアップ研究を募集し、現在5件のスタートアップ研究が進行中です。

今後は会員の増加を図りながら、地域社会と熊本高専の連携推進を担う会として活動して行く予定です。どうぞよろしくお願い致します。

熊本高専地域連携振興会役員（平成30年12月設立当時）

顧問	八代市市長　中村　博生	合志市市長　荒木　義行
会長	株式会社テレビ熊本取締役副社長　加藤　友信	
副会長	熊本高専校長　荒木　啓二郎	
理事	八代市副市長　田中　浩二	合志市副市長　濵田　善也
	（株）熊本銀行取締役頭取　竹下　英	金剛（株）代表取締役社長　田中　稔彦
	櫻井精技（株）代表取締役社長　櫻井　一郎	（株）末松電子製作所代表取締役社長　末松　謙一
	平田機工（株）取締役執行役員　平田　正治郎	
執行役	（株）熊本銀行執行役員　井上　浩一	（株）テレビ熊本総務局長　前田　潤
	熊本県工業連合会事務局長　冨永　好三	
	熊本高専熊本キャンパス総務主事　小山　善文	熊本高専八代キャンパス総務主事　田中　禎一
	熊本高専校地域イノベーションセンター長 小田川　裕之	熊本高専地域イノベーションセンター副センター長 田中　裕一
監査役	熊本電波工業高等専門学校同窓会会長　松村　民雄	熊本高等専門学校熊本キャンパス奨学後援会会長 濵崎　智雄
幹　事	熊本高専事務部長　田邉　鉄太郎	

九州大学での内地研究について

熊本キャンパス
リベラルアーツ系理数グループ
松上　優

昨年度の5月から2月までの10ヶ月間、九州大学大学院理学研究院化学部門・理論化学研究室にて内地研究員としてイオン液体の構造の理論的研究に従事してきました。ご存知の通り、九州大学は箱崎から伊都への移転が行われております。箱崎のような航空機の騒音もなく、静かな環境で勉強や研究ができ有意義に過ごせました。

九州大学では、専門の液体構造の研究だけではなく、基幹教育院次世代教育開発センターが定期的に開催しているセミナーにも多く参加することができました。例えば、ファシリテーション、AL手法、ルーブリック、カリキュラム設計に関するものなど、多くのことを学ばせて頂きました。これらのことを熊本高専での仕事に生かし、学生のために新たな気持ちで頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、長期にわたる出張にも関わらず、快く送り出して頂いた共通教育科の皆様およびご支援いただいた本校の皆様に感謝いたします。

古典を精読―内地研究よりもどって

八代キャンパス
リベラルアーツ系人文グループ
遠山　隆淑

2018年度の約1年間、大学院の母校である九州大学に熊本から通い、恩師のゼミに参加して、J・S・ミル『代議制統治論』とルソー『社会契約論』を精読しました。参加者は、恩師と私、博士課程3年の院生1名、大学院進学志望の学部4年生1名の計4名。精読と表現できるくらい、毎週、レジュメを作成して論点を提示する、という大学院の通常ゼミよりもハードな内容でした。研究者としての現段階で、私の直接の研究対象ではない思想家のテキストと久しぶりに正面から格闘するという希有な体験は、その内容が通俗的な理解や専門分野の教科書の説明と必ずしも一致しない、という認識を改めて深く示してくれました。研究対象を広げねばならない研究者人生の後半に向け、この経験は実りをもたらす種となって私の中に埋められたはずです。

このような貴重な経験を与えてくれた高専のみなさまに深く感謝いたします。ありがとうございました。

内地研究より戻って

八代キャンパス　拠点化プロジェクト系
グローバルリーダーシップ育成グループ
岩下　いずみ

昨年度内地研究期間をいただき、出身大学である九州大学大学院人文科学府にて内地研究員として過ごしました。九大は年度途中からキャンパスが箱崎から伊都へと移ったため環境の変化に戸惑うことも多い期間後半でしたが、新キャンパスの充実した環境に恵まれたとも感じます。

一年を通じてアイルランドの小説家ジェイムズ・ジョイスの作品を網羅的に研究し、その途中成果を六月の日本ジェイムズ・ジョイス協会シンポジウム、十月の日本英文学会支部大会で発表しました。またその内容を反映した論文を論文集や学会誌に掲載できましたので、集中して研究に取り組めた一年は、実りのある内地研究期間だったと感じています。

このような機会を可能にしていただいた熊本高専のみなさまに深く感謝いたします。今後も研究・教育のバランスを取りつつ、現在の研究内容をさらに深めたいと思います。

転入者等一覧

学外からの異動

R1.7.1 現在

氏　名	所属・職名	前任地
永長　一平	学務課長（八代C）	北九州工業高等専門学校総務課長
興梠　由華	総務課課長補佐（八代C）	熊本大学研究・産学連携部国際戦略課係長（国際事業戦略チーム）
福田　くみ	管理課課長補佐（熊本C）	熊本大学医学部附属病院事務部経理課係長（経理チーム物品調達担当）
河津　秀利	学生課課長補佐（熊本C）	熊本大学教育研究支援部情報企画課副課長（情報企画チーム）
田上　征幸	管理課財務係長（八代C）	熊本大学医学部附属病院事務部経理課主任（経理チーム予算担当）
牛島　直史	学務課学生係長（八代C）	熊本大学施設部施設企画課係長（施設企画チーム総務契約担当）
山口　一美	学務課寮務係長（八代C）	熊本大学総務部労務課係長（労務チーム労務担当）
土肥　眞由美	学務課学術情報係長（八代C）	熊本大学医学部附属病院事務部経理課主任 （経理チーム物品調達担当）
岩永　菜穂子	総務課主任（研究･社会連携係）（八代C）	熊本大学教育研究支援部情報企画課主任（情報企画チーム）
中川原 さやか	管理課員（財務係）（八代C）	熊本大学学生支援部教育支援課課員（学務企画チーム総務担当）
米原　匠	管理課員（管理係）（熊本C）	熊本大学学生支援部就職支援課課員（就職支援チーム）

キャンパス間異動

氏　名	所属・職名	前任地
髙木　眞弓	学務課課長補佐（八代C）	学生課課長補佐（熊本C）
出良　真	総務課課長補佐（熊本C）	総務課総務係長（八代C）

新規採用

※非常勤職員については、週20時間以上勤務の者のみ掲載

氏　名	所属・職名
山澤　恭介	総務課員（総務係）（八代C）
志水　奈津子	総務課員（庶務係）（熊本C）
井上　真奈	管理課員（財務係）（八代C）
白木　佐枝子	学生課学生寮指導員（学寮係）（熊本C）
坂本　ゆかり	総務課事務補佐員（研究・社会連携係）（熊本C）
原山　摩耶	学生課員（学生支援係）（熊本C）

情報セキュリティセンターより

情報セキュリティセンター
藤本 洋一

情報セキュリティセンターは旧ＩＣＴ活用学習支援センターから組織替えにより新しくなったセンターです。これは皆さんもご承知のように時代の要請ですね。

当センターでは、学生のみなさんの学習や研究のために、コンピュータやネットワーク、情報セキュリティなどに関連したサポートを行っています。具体的にはメール、e-Learning システム、演習室、校内ＬＡＮなどの管理運用などを担当しています。何かＩＣＴ関係で困ったことや質問などは、気軽に相談に来てください。

最近の情報セキュリティ関連のニュースとして、ランサムウェア、バイトテロなどがあります。ランサムウェアはデータを暗号化して利用できなくし、元に戻してほしければお金を払えなどと言ってくるものです。これは誰にでも起きえ、悪意を持った未知の相手に対する対応です。バックアップをちゃんと取ることが対策です。つぎのバイトテロは、自分が楽しければいいというだけの考え無しの行動から起きています。これは自分自身への対応となり、日常生活の中でやって良いこと悪いことをちゃんと理解するという当たり前ことが対策です。このようなこともネット社会となって，情報セキュリティ関係の話題となっています。

情報セキュリティは専門家の特別なことではなく、皆さんの日常に関わります。被害を受けない与えないの両面を考えておきましょう。そして何より「何かあったらすぐ相談」を忘れずに。

はじめの一歩 グローバルリーダーシップ育成センターより

グローバルリーダーシップ育成センター副センター長
宇ノ木 寛文

熊本高専は海外の多くの高等教育機関と交流協定を締結しています。グローバルリーダーシップ育成センター（ＧＬセンター）の役割の一つはそうした機関と連携した国際交流プログラムを企画、立案、運営し、学生の皆さんのグローバルエンジニアとしての第一歩を後押しすることです。

今年度もすでに多くのプログラムについて連絡がなされています。プログラムには以前この欄でも紹介されたJSTS／ISTSのように海外の学生と協働して問題解決に取り組むセミナーの企画・運営といったレベルの高いものから、「将来のグローバルエンジニア」を目指して、まず日本を出て異文化を体験してみよう、といった入門的プログラムまで様々なものが含まれています。

「まず行ってみる」ことは実は非常に重要です。自らのものとは異なる文化の地に身を置くこと、人々やその考えに触れることで、自国中心であった価値観に、多かれ少なかれ、新たな尺度が生まれます。そうした尺度は、以前の生活に戻っても、それまでとは異なる視点から物事を考えることを可能にします。そして、必然的にそれは自らが属する文化の再認識、再評価につながります。「異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ」はグローバルエンジニアとして併せ持つべき重要な資質ですね。

すべては、「はじめの一歩」からです。是非踏み出して下さい。ＧＬセンターはその手助けができることを楽しみにしています。

多様な関連性を活かした取り組みに参加して下さい

地域協働プロジェクトセンター
副センター長　田中 裕一

人生100年時代、超少子高齢化、Society 5.0、SDGs、AIといった語句を目にする機会が増え、今ある仕事のいくつかは将来無くなるかもしれないと言う予測もあり、これからの学生は何を学んだらよいだろうかと考えることがあります。高校でも、科学、PBL、留学、工場見学、地域と協働した取り組み等、それぞれ特色を意識して力を入れ始めており、本校もガラパゴス化しないように、気を付けていく必要があると思います。

地域協働プロジェクトセンターは、地域の協力を得て、本校の資源を活用して地域に貢献し、地域と一体となった発展を目指すための窓口的役割を担っています。地域産業界等との連携を推進し、共同研究・開発に力を入れています。熊本県工業連合会と熊本高専の人材育成・共同研究に関する協定に基づいて行われる、学生の協働教育プログラム「閃きイノベーション」はその一例で、共同研究や求人・採用につながることもあります。昨年、新たに発足した両キャンパスを含む応援組織である熊本高専地域連携振興会、合志および八代圏域自治体、大学、熊本県、省庁関連、全国に51校ある国立高専との連携も少しずつ増加しています。

本センターは、今後も様々な関連性を活かしながら成果を上げるべく、取り組んでいきます。皆さんも是非関わってもらえたらと思っています。

技術・教育支援センターより

技術・教育支援副センター長
井山 裕文

技術・教育支援センターは、電気系、情報系、化学系、機械加工系、生物化学系など多岐の分野に亘り、学内の教育・研究の技術的サポートを主に行っております。また、「わいわい工作わくわく実験」、「高専ハカセ塾」などをはじめとする、地域社会、ものづくり教育への貢献活動を行っています。その他、卒業研究、特別研究、ロボコンロボット製作、ブリコンの橋梁製作の支援活動をはじめ、地域企業からのものづくりに関する技術相談を受けた研究活動も実施しています。

今年度は八代キャンパスの実習棟改修が行われ、新しい環境設備に恵まれ、さらなる実績向上が期待されています。それに見合うような新しい取り組みを行っていきます。特に学内研究支援のほか、継続して地域・社会貢献活動のさらなる発展に貢献できるように活発に運営、活動を行っていきます。また、グローバル化を意識した教育支援のためにも海外研究旅行の引率支援を行いながら、技術職員の海外でのものづくり状況を学ぶ機会を設けていきます。改修にあたって注目する施設・設備として、「グループ学習室」を新規に設置し、ICTを活用した教育支援から技術支援を学内での教育研究活動ばかりでなく、地域社会への貢献活動でも役立つような企画、支援活動を行おうと考えております。例えば、工作機械は一般的にコンピュータ制御によるものが主流であり、機械加工でのものづくりにはICTが欠かせません。その技術支援とCAE(数値シミュレーション)を含めたものづくり設計支援も行うことが可能となり、これらの設備を活用した社会人講座の開催などを計画しています。また、当施設を活用しながら教員、学生と共に研究プロジェクト活動に積極的に取り組もうとしています。

諸だより

保健室から　夏バテを防ぐ生活をしよう

看護師　山下　智子

夏バテはどうして起こる？

人は暑いとき、汗をかいて体温調節をしています。ところが、湿度が高いと汗が蒸発しにくく、体温を下げることができなくなります。すると、体の熱が下げられず、体に負担がかかり、「だるい」「食欲がない」といった夏バテの症状が出てきます。

規則正しい生活で夏バテを防ごう

夏を元気に過ごすためには、生活リズムを守ることが大切です。規則的な生活を心がけましょう。

◎睡眠をきちんととる
なるべく毎日同じ時間に寝るようにして、生活リズムをつくろう。
睡眠時間を確保し、疲れをとることが大切。

◎適度な運動をする
適度な運動は生活のリズムをつくり、食欲不振や寝付きの悪さを解消してくれます。

◎食事をバランスよくとる
1日3回、決まった時間にバランスのよい食事をとろう。
旬の野菜には、夏バテ防止になるビタミンがたっぷり含まれています。

◎冷たいものばかり飲まない
冷たい飲み物は、胃の働きを低下させ食欲が落ちてしまいます。
また、糖分を多く含んだ清涼飲料水も食欲を低下させてしまうので、控えましょう。

学生支援室から

学生支援室長　楠元　実子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。希望あふれる新しい高専生活が始まりましたね。学生相談室は、今年度より「学生支援室」と名称を変えて再スタートしました。皆さんの高専生活を新体制でしっかりサポートしていきたいと思います。長きに渡る高専生活では様々な困難にぶつかるかもしれません。問題が生じたとき、自分ひとりで抱え込むのではなく、周りの誰かに話してみましょう。

熊本高専の学生支援室には医師や臨床心理士が毎週定期的に勤務しており、充実した支援が受けられます。来校日や時間は保健室前の掲示や案内文書に載っています。先生方は相談のプロなので、大変話しやすく、悩みの内容が整理され、解決の糸口となることでしょう。希望者の予約窓口は保健室ですので、気軽に声をかけてください。ほかにも「KOSEN健康相談室」では電話や Web での相談も受け付けていますので、こちらも何かあったとき利用してみてください。

「新・閃きイノベーション 2018」の発表会を開催しました。

平成31年4月26日(金)、熊本高専八代キャンパス合同講義室にて(一社)熊本県工業連合会と本校主催の「新・閃きイノベーション2018」の発表会を開催しました。

「新・閃きイノベーション」とは、平成22年から行ってきた「閃きイノベーション」を発展させた、「教育」＋「地域」＋「研究」の総合的な実践プログラムの一つで、平成29年度から実施しています。

従来のプログラムは、企業のもつ技術や特長を生かして新製品の提案を行うアイディアコンテストの形式でしたが、一歩進めて、企業で実際に問題になっている現実の課題の中から、本校の学生が解決できるものを選び、学生が授業の一環として、解決法を考え、プロトタイプの作製やシミュレーションを実際に行い、その結果を報告するという「社会実装型」に展開しています。

今回は、建築社会デザイン工学科、機械知能システム工学科、情報通信エレクトロニクス工学科の学生ら7グループが発表を行い、建築社会デザイン工学科の学生グループによる課題製作物については会場に展示もされました。

本発表会へは出題企業5社を始め、(一社)熊本県工業連合会会員企業、本校学生、教職員など約170名(OB 3名含む)が参加し、学生が提案するアイディアに対して活発な意見交換が行われました。

短期留学生との交流会を実施しました。

シンガポール Republic Polytechnic からの留学生(4月から8月まで八代キャンパスに滞在)と英語で交流する会を平成31年4月26日(金)に実施しました。

この会は、英語学習や国際交流活動・留学へのモチベーションを高めることを目的に、英語研究部の学生たちが主催したもので、国際交流に興味のある学生と本校の留学生も交えて、英語でコミュニケーションをとりました。

初めは緊張気味だった日本人学生たちも会が終わるころには打ち解けた様子で、充実した時間を過ごしました。

鶴之湯旅館再生プロジェクトがスタートしました。

八代市坂本町にある歴史的建造物、球磨川温泉鶴之湯旅館の再生プロジェクトが、令和元年5月18日(土)～19日(日)にスタートし、同旅館にて第1回オリエンテーションを開催しました。

主催は球磨川温泉再生プロジェクトチームで、監修に本校の森山学 教授、熊本県立大学の柴田祐 教授らがあたり、本校の建築社会デザイン工学科、熊本県立大学の環境共生学部・居住環境学科の学生らや地域の方々が参加します。

内容は露天風呂の増築、旅館の魅力を発信・活用した各種企画からなり、露天風呂は今年度に設計、次年度に施工予定です。今回は旅館の周辺・内部および露天風呂計画地の見学、葉木集落の散策、グループワークにより発見した魅力の整理、露天風呂や旅館の魅力発信・活用の提案を行いました。

熊本高専に関する最新のニュースは、熊本高専の公式 Web サイト https://kumamoto-nct.ac.jp/ をご覧ください。

行事予定 Event Calendar 2019

9月▶3月

熊本キャンパス

9月

12日(木)～30日(月)	４年生研修旅行

10月

1日(火)	開校記念日
	後期授業開始
13日(日)～14日(月)	全国高専プログラミングコンテスト(都城高専)
24日(木)	授業参観、保護者懇談会、寮生保護者懇談会
26日(土)～27日(日)	電波祭

11月

24日(日)	高専ロボコン２０１９全国大会
22日(金)～28日(木)	後期中間試験

12月

7日(土)～8日(日)	高専デザコン全国大会(東京)
23日(月)～1月3日(金)	冬季休業

1月

21日(火)	特別研究発表会(専攻科)
25日(土)	本科推薦選抜(入学試験)
25日(土)～26日(日)	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
31日(金)～2月6日(木)	後期定期試験

2月

16日(日)	本科学力選抜(入学試験)
21日(金)	キャリアセミナー
26日(水)	卒業研究発表会
27日(木)～28日(金)	冬季クラスマッチ

3月

3日(火)～31日(火)	学年末休業
23日(月)	卒業式・修了式

八代キャンパス

9月

14日(土)	編入学試験
29日(日)～10月4日(金)	４年生研修旅行

10月

1日(火)	開校記念日
	後期授業開始
13日(日)～14日(月)	全国高専プログラミングコンテスト(都城高専)

11月

1日(金)～4日(月)	高専祭
24日(日)	高専ロボコン２０１９全国大会
26日(火)～12月2日(月)	後期中間試験

12月

7日(土)～8日(日)	高専デザコン全国大会(東京)
25日(水)～1月3日(金)	冬季休業

1月

10日(金)～11日(土)	キャリア研修会
25日(土)	本科推薦選抜(入学試験)
25日(土)～26日(日)	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
27日(月)	特別研究発表会(専攻科)

2月

5日(水)～12日(水)	後期定期試験
16日(日)	本科学力選抜(入学試験)
26日(水)～28日(金)	卒業研究発表会

3月

4日(水)～31日(火)	学年末休業
23日(月)	卒業式・修了式

熊本高専だより 2019.SUMMER No.27

【発行】広報戦略室　令和元年８月

編集後記

今年ほど熊本の梅雨入りが遅かったのは、およそ半世紀ぶりだそうです。気象の変化が激しい現代、いつ起こるかわからない災害に対して、日頃からの備えを心がけましょう。防災に関する技術について学んでみるのも良いかもしれません。

熊本高等専門学校
National Institute of Technology, Kumamoto College

熊本キャンパス
〒861-1102　熊本県合志市須屋2659-2
TEL 096-242-2121

八代キャンパス
〒866-8501　熊本県八代市平山新町2627
TEL 0965-53-1211

https://kumamoto-nct.ac.jp/